

けいはんな学研都市7大学連携

市民公開講座 2021

参加費
無料

定員各回
200名



けいはんなから「知の発信」

申込みはこちらから

<https://www.kri.or.jp/contact/shiminkouza2021.html>

日時 9月3日(金)、10日(金)、17日(金) いずれも13:00～

方法 オンライン開催 (Webセミナー形式) **申込** 要申込 (Web受付のみ)

問合せ:(公財)関西文化学術研究都市推進機構「市民公開講座2021」担当 khn-shiminkouza@kri.or.jp

市民公開講座開催にあたって

けいはんな学研都市(関西文化学術研究都市)に立地している7つの大学と国立国会図書館関西館との共同企画により、けいはんな学研都市7大学

連携市民公開講座を、9月3日から、毎週金曜日に3週連続で開催します。

本講座では『けいはんなから「知の発信」』をキーワードとし、一般市民の方々の関心の高い分野について、7つの大学と共に国立国会図書館も主催団体の一つとして1講座を担当し、専門の講師が最新の研究事例を分かりやすく解説いたします。

参加は無料ですので、学研都市での知的活動にご興味のある多くの皆さま方のご参加をお待ちいたしております。

第1回 9月3日(金)

13:05～14:05 京都先端科学大学 農学 藤井 孝夫
ふじい たかお
 バイオ環境学部農学学科 特任教授

宇治茶のイノベーション
関西館資料展示 後日配信あり
 ～磨かれた荒野を開拓した人たち～

14:05～14:15 関西館資料展示説明

14:30～15:30 同志社大学 理工学 千田 二郎
せんだ じろう
 理工学部 教授

環境・エネルギー問題と持続可能な低炭素社会の構築に向けて
後日配信あり
 ～京都府けいはんな地域での低炭素社会実証事業のご紹介～

15:45～16:45 京都府立大学 農学 板井 章浩
いたい あきひろ
 生命環境科学研究科 教授

果樹の栽培化と多様性の機構
 ～より甘くておいしい品種の開発に向けて～

第2回 9月10日(金)

13:05～14:05 奈良先端科学技術大学院大学 電子工学 浦岡 行治
うらおか ゆきはる
 先端科学技術研究科 物質創成科学領域 教授

AIの進化を支える半導体プロセス・デバイス技術
後日配信あり
 ～奈良先端大発、薄膜加工プロセスの最先端～

14:20～15:20 同志社女子大学 健康・医療薬学 関本 裕美
せきもと ひろみ
 薬学部医療薬学科 特別任用教授

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の予防と治療
後日配信あり
 ～ポストコロナを迎えるにあたって ワクチンと治療薬～

15:35～16:35 京都大学 作物育種学 西村 和紗
にしむら かずさ
 農学研究科附属農場 助教

四倍体古代コムギから見出された新規旱生遺伝子
 ～国産コムギの安定生産を目指して～

第3回 9月17日(金)

13:00～14:00 大阪電気通信大学 建築構造工学 北尾 聡子
きたお さとこ
 工学部建築学科 准教授

建物のつよさの秘密
後日配信あり
 ～調べる・壊す・予測する～

14:15～15:15 奈良学園大学 脳神経科学 辻下 守弘
つした もりひろ
 保健医療学部 リハビリテーション学科 学科長・教授

ブレインテックの驚異
後日配信あり
 ～次世代脳トレとリハビリテーション～

後日配信あり 10月1日よりこのマークの付いた講座の録画配信を行います。閲覧申込は9月13日より下記 URL <https://www.kri.or.jp/> から受付開始予定。

主 催:(公財)関西文化学術研究都市推進機構、国立国会図書館、奈良先端科学技術大学院大学、同志社大学、同志社女子大学、大阪電気通信大学、京都府立大学、奈良学園大学、京都大学
 後 援:(公財)国際高等研究所、(株)けいはんな

国立国会図書館関西館 資料展示 ご案内(入場無料)

「ニッポン茶・チャ・CHA」 日本のお茶に関する本と雑誌約70点を、歴史、文化、産業・科学の切り口から紹介します。

日 時: 8月19日(木)～9月14日(火)

9時半～18時(日曜休館)

場 所: 地下1階閲覧室

お問合せ: 国立国会図書館関西館 資料案内

TEL.0774-98-1341

詳細は

<https://www.ndl.go.jp/jp/kansai/events/index.html>

に掲載予定



丹波修治 尊著、清川月耕 挿画「教草」明治5-9

日本として初の公式参加となったウィーン万国博覧会への出品を機に、産産物の製造過程を木版画にまとめたもの。掲載図は「製茶一覽」の一部。*



高橋義雄 編「大正名器鑑 第1編」大正名器鑑編集所、大正10-15

足利義政により「初花」と名づけられたと伝わる茶入(茶道に用いる抹茶の容器)。重要文化財に指定されている。*

*「国立国会図書館デジタルコレクション」ではモノクロ画像

今回の市民公開講座の講師陣をご紹介します。

第1回 9月3日(金)

13:05~14:05

農学

関西館資料展示関連講演

宇治茶のイノベーション

～嗜好の荒野を開拓した人たち～

京都先端科学大学
バイオ環境学部食農学科 特任教授

ふじい たかお
藤井 孝夫



京都大学大学院農学研究科修士課程修了。農学修士、技術士(農芸化学)、宇治茶伝道師。京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所所長、京都府農林水産技術センター生物資源研究センター所長を経て、現職。主な著作に、『日本茶の魅力求めて』(共著、大河書房、2005)、『茶大百科I』(共著、農文協、2008)、『テアニン発見60年』(『茶』第63巻7号及び8号、2010)、『京料理の文化史』(共著、思文閣出版、2017)などがある。

14:30~15:30

理工学

環境・エネルギー問題と持続可能な低炭素社会の構築に向けて

～京都府けいはんな地域での低炭素社会実証事業のご紹介～

同志社大学
理工学部 教授

せんだ じろう
千田 二郎



1985年同志社大学大学院工学研究科修了、工学博士。ヤンマーディーゼル(株) 技術研究所を経て、1990年同志社大学工学部 専任講師、1992年同助教授。1994年～1995年アメリカ合衆国ウィスコンシン州立大学客員助教授、1998年同志社大学工学部(現理工学部)教授。2003年同志社大学 エネルギー変換研究センター長、2004年同総合情報センター所長、2012年同理工学研究科所長、2019年学校法人同志社一貫教育探求センター所長。

15:45~16:45

農学

果樹の栽培化と多様性の機構

～より甘くておいしい品種の開発に向けて～

京都府立大学
生命環境科学研究科 教授

いたい あきひろ
板井 章浩



・大阪府生まれ、奈良育ち ・京都大学大学院農学研究科農学専攻修了
・京都大学 博士(農学) ・鳥取大学農学部 助手、助教授、准教授を経て
現在、京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
専門は果樹園芸学、資源植物学

第3回 9月17日(金)

13:00~14:00

建築構造工学

建物のつよさの秘密

～調べる・壊す・予測する～

大阪電気通信大学
工学部建築学科 准教授

きたお さとこ
北尾 聡子



京都工芸繊維大学大学院工芸家学研究所造形工学専攻博士前期課程修了、同大学院博士(工学)。
京都工芸繊維大学及び大学院助手・助教を経て2018年現職就任。
建築構造力学・建築構造工学を専門とする。
京都市構造基準適合性調査委員及び奈良県建築士審査会委員を兼任。

14:15~15:15

リハビリテーション科学

ブレインテックの驚異

～次世代脳トレとリハビリテーション～

奈良学園大学 保健医療学部
リハビリテーション学科 学科長・教授

つじた もりひろ
辻下 守弘



岡山大学大学院医歯薬学研究科長寿科学専攻疫学・衛生学 博士課程単位取得後満期退学／大阪教育大学大学院 教育学研究科健康科学専攻 修士課程修了 修士(学術)／佛教大学 社会学部社会福祉学科卒業。10年間、高知医科大学(現高知大学)医学部附属病院理学療法部勤務後、広島県立保健福祉短期大学理学療法学科専任講師、県立広島大学保健福祉学部理学療法学科准教授、甲南女子大学看護リハビリテーション学部理学療法科教授を経て現職。元厚生労働省理学療法士作業療法士国家試験委員、公益社団法人日本理学療法士協会認定理学療法士試験委員、日本バイオフィードバック学会理事を歴任。

第2回 9月10日(金)

13:05~14:05

電子工学

AIの進化を支える半導体プロセス・デバイス技術

～奈良先端大発、薄膜加工プロセスの最先端～

奈良先端科学技術大学院大学
先端科学技術研究科 物質創成科学領域 教授

うら おか ゆきはる
浦岡 行治



1985年豊橋技術科学大学電気電子工学科修士修了。松下電器産業株式会社(現パナソニック)半導体研究センター入社。1999年奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科助教授。2009年同大学教授。現在 物質創成科学領域副領域長 物質科学教育研究センター長。応用物理学学会フェロー。専門は半導体工学。

14:20~15:20

健康・医療薬学

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の予防と治療

～ポストコロナを迎えるにあたって ワクチンと治療薬～

同志社女子大学
薬学部医療薬学科 特別任用教授

せきもと ひろみ
関本 裕美



神戸薬科大学大学院薬学研究科修了。国立病院機構近畿グループで病院薬剤師として8施設に勤務し、神戸医療センター薬剤部長を2020年3月退職後、同年4月より現職。薬剤師免許と臨床検査技師免許のダブルライセンスを保持。日本薬剤師研修センター、日本病院薬剤師会、日本医療薬学会の認定指導薬剤師及び薬物療法専門、指導薬剤師。循環器、救命救急、栄養、感染に関して論文、発表を行う。

15:35~16:35

作物育種学

四倍体古代コムギから見出された新規早生遺伝子

～国産コムギの安定生産を目指して～

京都大学
農学研究科附属農場 助教

にしむら かずさ
西村 和紗



2014年3月京都大学農学部資源生物科学科卒業。2014年4月京都大学大学院農学研究科博士前期課程入学。2018年7月京都大学大学院農学研究科博士後期課程中退。2018年8月より京都大学大学院農学研究科附属農場助教(現職)。コムギを中心とした作物の遺伝解析を専門とする。

市民公開講座参加申込先等について

講演内容など詳細情報は
下記URLから

参加お申込みはこちらから



<https://www.kri.or.jp/>

<https://www.kri.or.jp/contact/shiminkouza2021.html>

問合せ:(公財)関西文化学術研究都市推進機構「市民公開講座2021」担当
khn-shiminkouza@kri.or.jp

けいはんなオータムフェア2021

けいはんな学研都市立地機関や地元自治体で9月から11月に開催されるイベントが盛りだくさん! このまちから発信されるサイエンスやテクノロジーに触れてみませんか。

秋はこのロゴに注目!



けいはんなから 未来を創る
オータムフェア
Keihanna Autumn Fair 2021

開催予定

・京都スマートシティエキスポ2021
・けいはんなビジネスメッセ2021
・けいはんなR&Dフェア2021
・ATRオープンハウス2021
...and more!

詳しくはこちらから





第1回 9月3日(金)

宇治茶のイノベーション

～嗜好の荒野を開拓した人たち～

関西館資料展示関連講演

農学

後日配信あり

日本茶の歴史は、宇治茶の歴史と言っても過言ではありません。宇治茶は茶道や茶香服(ちゃかぶき)、庶民の日常生活など、重層的な文化に育まれてきた伝統的飲料です。一方で、その味わいの素晴らしさは、先達によるイノベーションの賜物です。中国伝来の抹茶を起点として、日本の茶として確立されていく道のりを、技術的な観点から紹介します。併せて、緑茶に含まれる機能性成分についても紹介します。宇治茶のイノベーションは現在も進行中です。

京都先端科学大学

バイオ環境学部食農学科 特任教授

藤井 孝夫

環境・エネルギー問題と持続可能な低炭素社会の構築に向けて

～京都府けいはんな地域での低炭素社会実証事業のご紹介～

理工学

後日配信あり

環境/エネルギー問題の現状と課題、我が国のエネルギー政策の方向性を踏まえて、再生可能エネルギーと水素エネルギーの現状と開発状況などを紹介します。また今後の地域での最適なエネルギーグッドのあり方を示し、京都府けいはんな地域で実施されたいくつかの持続可能な低炭素社会実証プロジェクト内容を紹介します。最後に、低炭素街づくりに必要な要件を提言したいと思います。

同志社大学 理工学部 教授

千田 二郎

果樹の栽培化と多様性の機構

～より甘くておいしい品種の開発に向けて～

農学

栽培化とは、野生植物が人間の選抜をうけ人間に都合のよい性質をもつ栽培植物となる過程をいいます。果樹の栽培化において、野生種と栽培種には、果実の大きさ、甘さ、渋味や苦み成分等の大きな差異がみられます。本講演では、果樹の栽培化の過程で多様性がどのようにもたらされたかについて解説したあと、野生種と栽培種の大きな違いの一つである甘さについて、我々が現在取り組んでいる今まで一番甘いナシの品種開発に向けた最近の研究例を紹介したいと思います。

京都府立大学 生命環境科学研究科 教授

板井 章浩

第2回 9月10日(金)

AIの進化を支える半導体プロセス・デバイス技術

～奈良先端大発、薄膜加工プロセスの最先端～

電子工学

後日配信あり

近年、我々の生活、企業活動、金融システムなどあらゆる場面において、急速にAI(人工知能)の活用が拡大し、より安全で便利になっています。しかし、その発展を支えているのは、半導体微細加工プロセス技術やデバイスの高集積技術です。本講座では、本学の研究成果を中心にその半導体技術の基礎とAIにどのように応用されているのかをやさしく、わかりやすく説明します。

奈良先端科学技術大学院大学

先端科学技術研究科 物質創成科学研究科 教授

浦岡 行治

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の予防と治療

～ポストコロナを迎えるにあたってワクチンと治療薬～

健康・医療薬学

後日配信あり

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月初旬に中国武漢市で第1例目の感染者が報告されてから、わずか数カ月ほどの間にパンデミックと言われる世界的な流行となりました。わが国においては、2020年1月15日に最初の感染者が確認された後、「ダイヤモンド・プリンセス号」の乗船者を皮切りに感染者が増大していきました。これから私たちが迎えるポストコロナの時代における予防と治療を「おくすり」の観点からご紹介いたします。

同志社女子大学

薬学部医療薬学科 特別任用教授

関本 裕美

四倍体古代コムギから見出された新規早生遺伝子

～国産コムギの安定生産を目指して～

作物育種学

本邦のコムギ栽培においては、登熟期が梅雨の時期に重なり、収穫前の降雨による穂発芽や赤カビ病が問題になっており、早生品種の育成が進められてきました。一方で、早生化は収量の低下と連動する傾向にあり、複数の出穂・開花遺伝子を探索・同定し、それらを組み合わせることによって、出穂日を最適化することが必要です。本講演では、四倍体コムギという古代コムギのグループの解析を通して、新たに見出した出穂・開花遺伝子に関して紹介するとともに、品種改良への応用の可能性について解説します。

京都大学 農学研究科附属農場 助教

西村 和紗

第3回 9月17日(金)

建物のつよさの秘密

～調べる・壊す・予測する～

建築構造工学

けいはんな周辺を見渡しても魅力的な建物がたくさんあります。建築された年代・建物の材料・建てられ方・使われ方もさまざまです。建物には、自然環境や災害から人間とその生活を守るという大きな使命があります。大学建築学科での学び「調べる・壊す・予測する」をキーワードに、多種多様な建物のつよさとその秘密をご紹介します。

大阪電気通信大学 工学部建築学科 准教授

北尾 聡子

ブレインテックの驚異

～次世代脳トレとリハビリテーション～

リハビリテーション科学

後日配信あり

近年、脳科学が急速に進歩し、脳の働きがわかるようになりました。脳は人類未踏の領域ではなく、人類が開拓可能な領域になりつつあります。ブレインテックという言葉は、ブレイン(脳)とテクノロジー(技術)を組み合わせた造語であり、脳科学を利用した技術の総称です。本講演では、身近になったブレインテックの世界を紹介するとともに、ブレインテックを応用した次世代脳トレとリハビリテーションの今後について解説します。

奈良学園大学 保健医療学部

リハビリテーション学科 学科長・教授

辻下 守弘

